



SystemOn

設置ガイド

Table of Contents

SystemOn設置ガイド	3	マルチ-サブネットネットワーク	5
		必須条件	6
		通信要件	6
設置ガイド	3	データベースのバックアップと復元	6
Shureサポートチームにお問い合わせください	3	Mongo データベースのバックアップ	6
ソフトウェアのリリース	3	データベースバックアップからの復元	7
システム要件	3	インストール後の準備および実行	7
必須条件	3	構成チェックリスト	7
オペレーティングシステム	4	デバイスネットワークへの接続	8
ウェブブラウザ	4	サイトの URL の設定	8
ハードウェア	5	LDAPディレクトリからのユーザーのインポート	9
自動設定更新	5	SMTTPサーバーへの接続	10
インストーラー必須条件	5	SMSメッセージ通知の設定	10
Windowsファイヤーウォール	5		
IIS	5		

SystemOn 設置ガイド

設置ガイド

Windows サーバーにShure SystemOn オーディオセット管理ソフトウェア をインストールするためのガイドです。インストールが完了したのち、ソフトウェアを設定し、チームが簡単にオーディオネットワークを管理できるようにします。詳細はインストール後のアップと実行を参照してください。

Shureサポートチームにお問い合わせください

Shureシステムサポートは、Shureデバイスやデジタルオーディオネットワークについての深い知識を持ち、ご使用の設備に最適な解決策を提供します。ソフトウェアのインストールまたは設定中に問題が発生した場合は、Shureシステムサポートにお問い合わせください。アメリカ国内の場合は、312-736-6006に電話するか、www.shure.comにアクセスしてお近くのサポート連絡先をご確認ください。

ソフトウェアのリリース

このソフトウェアの新しいバージョンは定期的にリリースされ、新しい機能とパフォーマンス向上がこれに含まれます。このドキュメントでは最新のソフトをサポートしています。個々のリリースに関する詳細は、www.shure.comのリリースノートを参照してください。

システム要件

必須条件

サポートされているデバイスおよびファームウェア

以下のShureデバイスはSystemOnに対応しています。可能な場合は常に、最新のサポートされたバージョンに更新し、新しい機能とシステム向上の長所を生かしてください。

[Shure Update Utility](#)アプリケーションを使って、お使いのハードウェアがこれらの要件に合致していることを確認してください。

システム	ファームウェアバージョン
ANIUSB-MATRIX音声ネットワークインターフェース	3.1.x
MXA310テーブルレイマイクロホン	3.1.x
MXA910シーリングレイマイクロホン	3.1.5-4.0.x
MXW Microflex [®] ワイヤレスシステム	5.2.2-6.0.x
P300 IntelliMix [®] オーディオ会議プロセッサ	3.1.x
SBC220/240ネットワーク充電ステーション	1.1.43-1.1.x

システム	ファームウェアバージョン
SBC250/450/850ネットワーク充電ステーション	2.2.24-2.3.x
SCM820デジタルIntellimix®オートマチックミキサー	1.3.x
ULX-D®デジタルワイヤレスシステム	2.2.24-2.3.x

インターネット アクセス

- ソフトウェアのインストールにおいて(アプリケーションの更新に必要となる可能性あり)
- SystemOnでのSMS メッセージ通知の送信方法

必要なポート

サーバーのインバウンドポート HTTP および ウェブ ソケット	80 (デフォルト)
Mongoデータベースサーバー Web API イベントリサーバー (デバイスAPI)	3つのポート。10000~65535の範囲の空きポートを使用してインストール時に動的に割り当てます。

Windowsの更新プログラムをインストールします

ソフトウェアのインストール前に、お使いのオペレーティングシステムが最新であることを確認します。

推奨事項

MongoDB データベースを バックアップ	デフォルトとして、システムはMongoDB データベースのデイリーバックアップを作成します。詳細は「バックアップとMongoデータベースの保存」を参照してください。
SMTP サーバーとSystemOn の統合	ソフトウェアをインストールした後、統合のページから SystemOn を SMTP サーバーに接続します。SMTPは、ユーザー名の復元、ビルトイン管理者アカウントのパスワードを含むパスワードのリセットに必要です。

オペレーティングシステム

以下のオペレーティングシステムが、物理マシンおよびバーチャルマシンでサポートされます：

- Windows Server 2019 (推奨)
- Windows Server 2016
- Windows Server 2012 R2
- Windows 10 (Professional または Enterprise) 、64 ビット版

ウェブブラウザ

以下はブラウザでサポートされている最低のバージョンです：

- Chrome 72
- Safari: 12

- Windows Edge 44

ハードウェア

システムメモリー	3GB の RAM
ハードディスク容量	2 GB の空き容量
プロセッサ	デュアルコア以上

自動設定更新

以下の設定はソフトウェアのインストール中に自動的に作成されます。

インストーラー必須条件

インストールプロセス中に次の必須条件が自動的に追加されます:

- PowerShell Community Extensions 3.1
- Microsoft .NET Framework 4.6.2
- Microsoft Visual C++ 2013 再配布可能パッケージ (x86)
- Microsoft Windows Management Framework 4.0
- MongoDB v3.2.0

Windows ファイヤーウォール

ローカルポート	5568, 8427
---------	------------

IIS

アプリケーションプールの設定

- .NET CLR バージョン v4.0
- 32ビットアプリケーションの有効化

その他

- IIS サービスの有効化
- IIS_IUSRSグループの、アプリケーションディレクトリへの読み込み・書き込みアクセスを許可
- 「CWB」という名称のサイトの作成
- 「CWB」サイトが完全な .NET 信頼レベルで実行

マルチ - サブネット ネットワーク

サブネットをまたいで操作するためにShure SystemOnを設定するには、次の必須条件に従います:

必須条件

- デバイスのあるすべてのサブネットへの有効なIPルート
- ポート UDPを5568および8427にポートします
- ACNデバイスはサーバーからルーティング可能なデフォルトゲートウェイです

通信要件

サーバーと Shure デバイス間の通信には次の条件が必要です。

ネットワーク

- ユニキャストトラフィックへの対応
- サーバーマシンは、サポートされるShureデバイスをともなうすべてのサブネットへのIPルートが必要

Shureデバイス

ACN マルチキャスト

- ポート : 5568
- UDP マルチキャスト
- Windows 用TTL の現在値は20

Shure の追加の検出

- IP アドレス : 239.255.254.235
- ポート : 8427
- UDP マルチキャスト
- TTL は 64

データベースのバックアップと復元

Shureソフトウェア情報を格納するMongoDBデータベース (SystemOnとともにインストール済み) をバックアップすることにより、データ損失から保護します。バックアップは、新しいサーバーに移行する場合にも役立ちます。

バックアップには、チームがソフトウェアで行うすべてのプロジェクト、ロケーション、およびデバイス設定が保存されます。バックアップの復元では、現在のオペレーティングソフトウェアのバージョンに一致するバックアップファイル (.bak) のみがサポートされます。

Mongo データベースのバックアップ

MongoDB のバックアップの作成には、同ソフトウェアがインストールされたマシンを使用します。

1. データベースのバックアップをアーカイブする場所を特定します。このパスはコマンドラインで使用します。
2. スタートメニューの検索ボックスに「command」と入力してコマンドプロンプトを開きます。Enterキーは押さないでください。
3. コマンドプロンプトの項目を右クリックし、 [Run as administrator] を選択します。
4. []でマークされた箇所を置き換えて、次のコマンドラインを入力します (""を含めます) :

```
"[SystemOnソフトウェアのインストールディレクトリ位置]\Services\MongoDb-3.2.0\Bin\mongodump.exe" --host localhost --port [インストール時に選択した番号] --gzip --archive="[バックアップのパスとファイル名]"
```

ヒント：初期設定におけるコマンドラインのサンプル

```
"c:\Program Files\Shure\Shure Networked Systems Software\Services\MongoDb-3.2.0\Bin\mongodump.exe" --host localhost --port 30000 --gzip --archive="c:\Shure.bak"
```

5. Enterキーを押します。ファイルは、プロンプトで指定されたパスでアーカイブされます。

データベースバックアップからの復元

1. ソフトウェアがインストールされたマシンで、スタートメニューの検索ボックスに「command」と入力してコマンドプロンプトを開きます。Enterキーは押さないでください。
2. コマンドプロンプトの項目を右クリックし、 [Run as administrator] を選択します。
3. []でマークされた箇所を置き換えて、次のコマンドラインを入力します（""を含めます）：

```
"[SystemOnソフトウェアのインストールディレクトリ位置]\Services\MongoDb-3.2.0\Bin\mongorestore.exe" --host localhost --port [インストール時に選択した番号] --drop --gzip --archive="[バックアップのパスとファイル名]"
```

ヒント：初期設定におけるコマンドラインのサンプル

```
"c:\Program Files\Shure\Shure Networked Systems Software\Services\MongoDb-3.2.0\Bin\mongorestore.exe" --host localhost --port 30000 --drop --gzip --archive="c:\Shure.bak"
```

4. ENTERキーを押します。
5. コマンドプロンプトで

```
iisreset
```

と入力し、データベース構成を再読み込みします。

インストール後の準備および実行

次の設定はオプションですが、SystemOnに機能を追加し、A/Vサポートチームが効果的にShureデバイスを簡単に管理できるようにします。一部の設定はネットワーク管理者からの情報を必要とすることがあります。

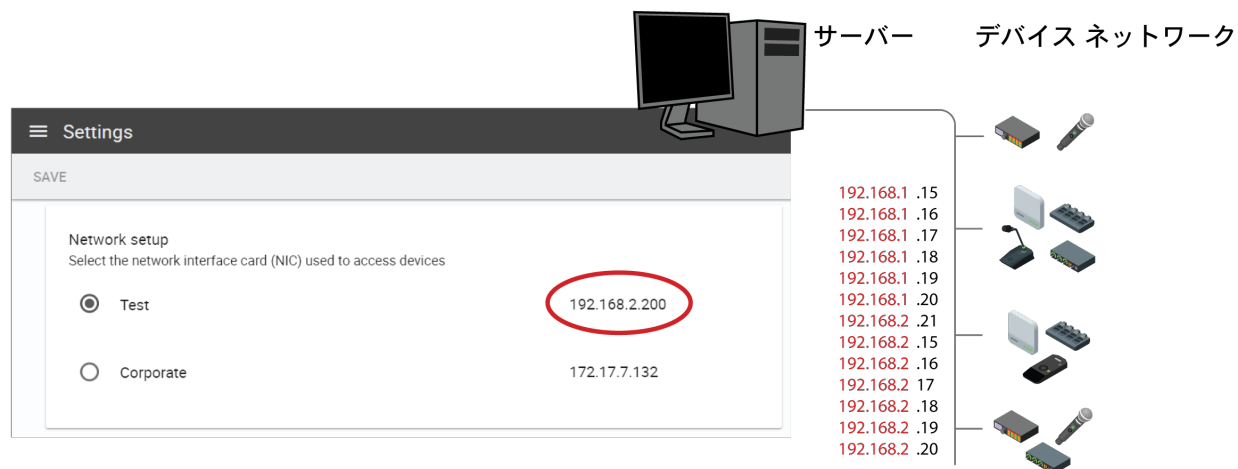
構成チェックリスト

これらの項目を設定手続きを円滑に進めるために準備し、SystemOnであなたのチームにアップして実行させてください：

1. 購入または試用ライセンスからのアクティベーションID。ソフトウェアにプランを適用した後、ライセンスを各ネットワークデバイスに割り当て、そのデバイスのためのSystemOnの全機能にアクセスする必要があります。
2. Shureデバイス上のサポートされたファームウェアバージョン。詳細は「システム要件」を参照してください。
3. 各サブネットにおけるすべてのデバイス用のIPアドレスのリスト
4. ユーザーと通知を設定するための情報
 1. LDAPサーバー
 2. SMTP
 3. SMSテキストメッセージ用のTwilio アカウント

デバイスネットワークへの接続

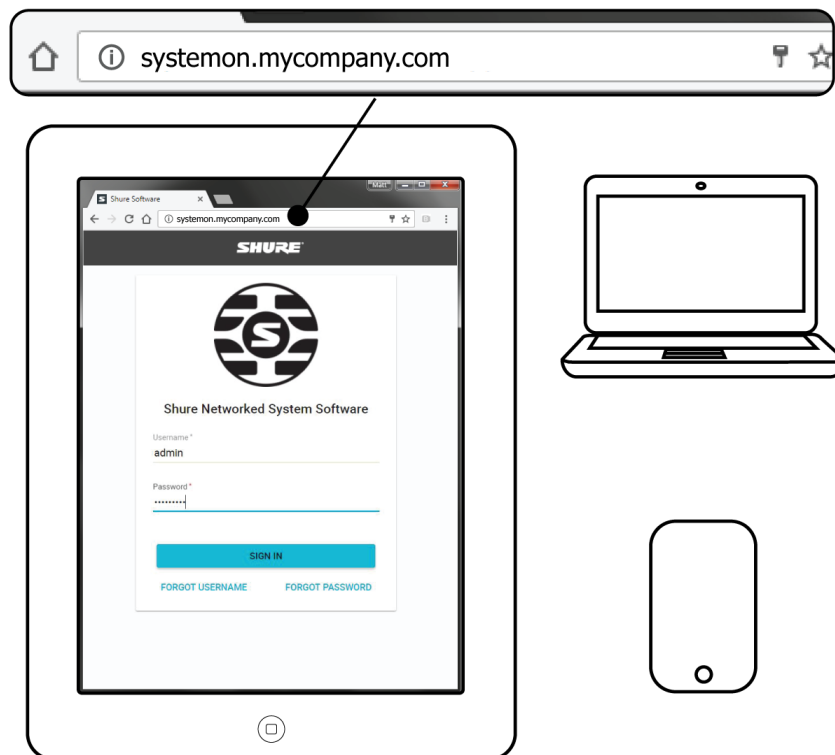
正しいネットワーク インターフェイス カード (NIC) を選択し、SystemOnサーバーをオーディオネットワークに接続します。マシン上に複数の NIC がある場合、デバイスと同じ範囲の IP アドレスを持つカードを選択します。



NIC の選択

サイトの URL の設定

わかりやすい名称から SystemOn サイトにアクセスするための基本 URL を設定できます。例:<http://systemon.mycompany.com>。これは、チームが SystemOn ソフトウェアにアクセスするのに使用するアドレスです。



ブラウザーを使ったSystemOn へのアクセス

DNS コントローラーに DNS エイリアスを設定して、正規化URL から SystemOn サイトにアクセスします。たとえば、SystemOn という DNS エイリアスを作成すれば、このソフトウェアには次のアドレスからアクセスできます: <http://systemon.mycompany.com> あるいは <http://systemon>。

LDAPディレクトリからのユーザーのインポート

LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) データベースに統合することによって、使用中のユーザー ディレクトリからアカウントを追加します。LDAPへの統合を行うと、既存のユーザーをインポートすることで設定時間を低減し、同じサインイン認証情報を使うことでチームのワークフローを簡潔化できます。

1. **設定** > インタロゲーションに進みます。
2. LDAPセクションで **[Enable]** をクリックします。
3. LDAPサーバーの設定に従って必須フィールドにすべて入力します。
4. テスト接続を選び、統合が完了したことを検証します。
5. **Enable** をクリックします。

LDAPのパスワード

LDAPからインポートされたユーザーについては、パスワードはLDAPのデータベースによって保持され、サインイン中SystemOnによって参照されます。データベースとの矛盾を避けるために、これらのユーザーは、各自のパスワードをSystemOnによって再設定することはできません。

SMTPサーバーへの接続

自動電子メールを設定して、チームにデバイスの重要な更新情報を通知します。

1. **設定** > **インタロゲーション** > **Eメール**に進みます。
2. SMTPサーバーの設定を入力します。
3. 設定をテストして、統合が正常に行われたことを確認します。

例：

送信元：AVアラート [mailto:AV-Alerts@mycompany.com]

送信日時：2018年12月16日（金曜日）10:29 AM

送信先：AV技術サポート

件名：SystemOn - デバイス不明 - チャンネル1

技術サポート 部門各位

デバイスが不明です：

チャンネル1 (172.17.30.11) が見つかりません。

最終表示日時：2018年12月16日10:29:19 AM

MyCompany

www.myCompany.com

SMSメッセージ通知の設定

自動SMSメッセージを設定して、チームにデバイスの重要な更新情報を通知します。Shure SystemOnは、そのメッセージの運用にTwilioアカウントを使用します。

注：SystemOnがインストールされたサーバーまたはコンピューターにインターネット接続が必要となります

1. <http://www.twilio.com>で、Twilioアカウントを作成します。SystemOnに組み込むために、Twilioアカウントからの以下の情報を使用します。
 - TwilioアカウントID
 - Twilioトークン
 - Twilio アカウントの「発信」電話番号（設定されている場合）
2. **設定** > **インタロゲーション** > **SMS**に進みます。
3. 設定をテストして、統合が正常に行われたことを確認します。メッセージが、Twilio アカウントで入力された電話番号に送信されます。
4. ユーザーでアカウントを編集し、各チームメンバーの電話番号を追加します。